

経営比較分析表（令和5年度決算）

岐阜県 郡上市

業務名	業種・事業名	管理者の情報	自己資本構成比率（％）
法非適用	電気事業	非設置	該当数値なし
水力発電所数	ごみ発電所数	風力発電所数	太陽光発電所数
4	-	-	-
その他発電所数	料金契約終了年月日	F I T ・ F I P 適用終了年月日	電力小売事業実施の有無
-	令和17年4月30日 石徹白清流発電所	令和17年4月30日 石徹白清流発電所	無
売電先	地産地消の見える化率（％）※1		
北陸電力、中部電力	-		

※1 行政区域内の需要家に小売されたことが客観的に明らかであるものを計上。なお、この基本情報をもって全ての地産地消エネルギーへの取り組みを評価するものではない。

年間発電電力量（MWh）	R01	R02	R03	R04	R05
水力発電	951	1,351	1,367	1,461	1,467
ごみ発電	-	-	-	-	-
風力発電	-	-	-	-	-
太陽光発電	-	-	-	-	-
合計	951	1,351	1,367	1,461	1,467

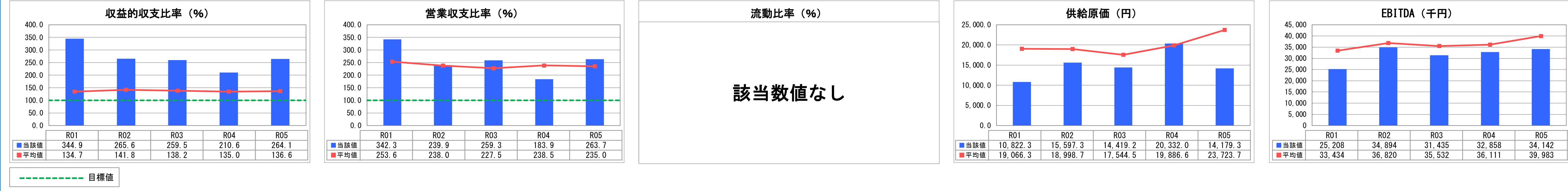
	F I T ・ F I P 以外	F I T ・ F I P	合計
年間電灯電力料収入（千円）	-	49,868	49,868

剰余金の使途について（具体的な使用実績事業を記入してください）	
基金への積立の有無…有	
目的：将来の施設更新に充てるため	13,900千円
一般会計への繰出しの有無…有	
目的：土地改良事業に活用	15,062千円
その他の有無…有	
目的：下水道事業会計への繰出し	5,180千円
電気事業により生じた利益は、将来の施設更新に充てるための基金に積み立てることを基本としている。積み立てた後、なお残額がある場合には、一般会計、その他（下水道事業会計）に繰出している。一般会計については土地改良事業、下水道事業会計については農業集落排水事業に活用することとしている。今後も事業運営に必要な財源を確保しつつ、土地改良事業に係る負担軽減に努める方針としている。	

分析欄

1. 経営の状況について
収益的収支比率は264.1%となっており、目標値100%以上、平均値136.6%以上であるため、良好といえる。自然災害や長期工事等がなく前年度から53.5%増加した。営業収益比率は263.7%となっており、目標値100%以上、平均値235.0%以上であるため、良好といえる。前年度からは、79.8%増加しているが、近年は物価高騰等により工事が高騰してきているため、設備の更新等のために積立を見直す必要がある。供給原価は14,179.3円となっており、前年度から比較すると大規模な修繕等なかったため、6,152.7円減少しており、1MWhあたりの単価が減少しているため良好といえる。EBITDAは34,142千円となっており、前年度から比較すると自然環境の影響もあるが、1,284千円増加しているため良好といえる。

1. 経営の状況

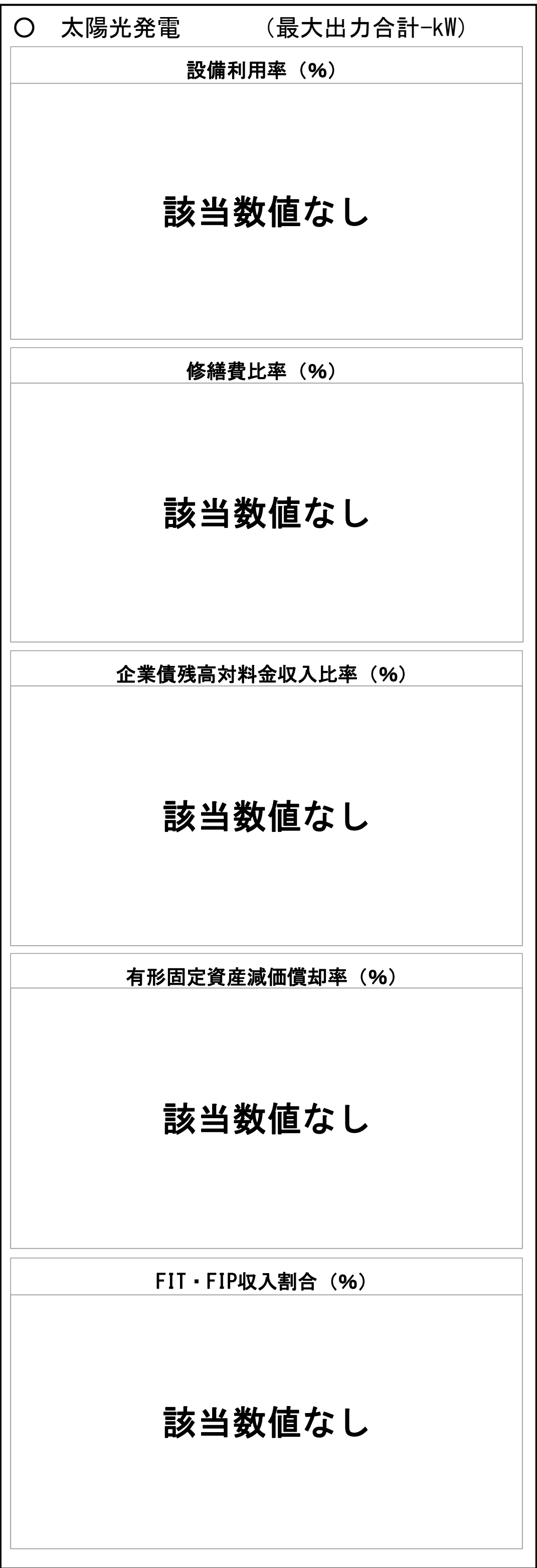


2. 経営のリスク

●施設全体



●発電型式別



※ 令和1年度から令和5年度における各指標の全国平均値は、当時の団体数を基に算出していますが、設備利用率及び修繕費比率、企業債残高対料金収入比率、FIT・FIP収入割合については、令和5年度の団体数を基に平均値を算出しています。

全体総括

今年度は大規模な修繕等がなかったため、前年度から比較すると良好の状態になったといえる。しかし、大規模な修繕は数年に1度あり、近年は物価高騰等の影響により、修繕費が高くなってきているため、赤字経営にならないように努めていきたいと考えている。また、大規模な修繕等に費用がかさむため、計画的な基金積立を行っている。